

独立行政法人統計センターの平成27年度業務実績評価結果の主要な反映状況

評価項目	平成27年度業務実績評価における主な指摘事項	平成28及び29年度の業務運営等への反映状況
<p>国勢調査その他国勢の基本に関する統計調査の製表に関する事項（国勢調査、科学技術研究調査）</p>	<p>（業務実績評価） 統計調査の製表業務の一部で、調査票を紛失するという事象及び集計プログラムの確認不足による再集計を行った業務があった。今後、このような事象を発生させないよう再発防止を徹底して行うとともに、他の調査においても同様のミスが発生することの無いよう強く求める。</p>	<p>調査票の紛失を再発させないため、調査票（原本）を直接使用しないで審査が行えるよう事務手順を改めた。 さらに、調査票の適切な管理に関する研修資料「調査票管理の徹底」を作成し、全ての調査の業務研修・中間研修において指導している。 再集計の再発防止については、通常とは異なる処理手順を行う際の指導として「システム等の開発に起因する再集計の再発防止に向けた取組方針」を策定し、各課職員に周知徹底を行った。集計プログラム作成におけるチェックポイントの可視化によりウォークスルーの強化を図るとともに、特にプログラムテスト時のテスト項目やテスト方法等の確認を徹底することにより、再発防止に努めている。 また、異常時における処理については、全ての汎用的なシステムに対する点検と改修により改善している。</p>